

感染症の出席停止基準

病名	潜伏期間	感染経路	症状	登園許可証の有無(登園基準)
百日咳	4～21日	気道・飛沫接触・ 間接	頑固で激しい(痙攣性)夜間激しい咳	必要 (特有の咳が消失するまで、または5日間の適正な抗菌療法が終了する)
麻疹(はしか)	7～21日	鼻・眼脂 喉の粘液	発疹・発熱2～4日前にコプリック斑	必要 (解熱した後、3日を経過するまで)
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	15～21日	だ液・喉	耳の下(耳下腺)・あごの下(顎下腺)の腫れと痛み・嘔吐・発熱	必要 (耳下腺の腫脹が消失するまで)
風疹	16～18日	飛沫・尿、便などの経路	発熱・発疹、かゆみがある・目の充血・首のリンパ腺腫脹	必要 (発しんが消失するまで)
水痘(水ぼうそう)	11～21日	鼻・喉の粘液 水泡液	軽度・中度の発熱発疹	必要 (すべての発しんが痂皮化するまで)
咽頭結膜炎(プール熱)	5～7日	飛沫・眼脂の接触	発熱・眼の充・めやに・まぶたの腫れ	必要 (症状が消褪した後2日を経過するまで)
流行性角結膜炎	5～7日	飛沫・眼脂の接触	発熱・頭痛 結膜炎の炎症	必要

※インフルエンザは罹患証明書で対応します。

※診察を受けていただきたい病気

0・1歳児も一緒に生活しています。症状によりひどくなる子もいますので
お互いに受診し医師の診断に従いましょう。

病名	潜伏期間	感染経路	症状
伝染性紅斑	10～14日	だ液	顔面赤斑とくに頬部の赤斑性発疹
溶蓮菌感染症	10～14日	接触・飛沫	咽頭に菌のいる間
手足口病	3～7日	患者の水疱内溶液	感冒様症状・手足口に赤斑
とびひ	2～5日	経皮伝染・接触	膿疱中の膿
冬の下痢	1～4日	経口	嘔吐・酸みの強い白色水用便
ヘルパンギーナ	2～6日	接触・飛沫	突然の高熱・喉に赤い発疹
マイコプラズマ肺炎	2～3週間	飛沫	発熱・微熱が続く・咳